

## 営農活動支援の事例（事例2）

市町村名 : 鹿追町  
活動組織 : 鹿追中央地区保全隊  
作物区分 : キャベツ（露地）  
取組面積 : 3,573a

鹿追町では、冷涼な気象条件を活かした農薬低減等に取り組んでおり、しかりべつ高原野菜出荷組合は、平成12年度に道の北のクリーン農産物表示制度(YES!clean)の登録集団となり、フェロモントラップの使用や生育監視システムによる予察防除、土壌分析による適正施肥指導の実施等により、農薬や化学肥料を北海道慣行に対し45%程度低減させてきた。これにより、平成13年度に全国環境保全型農業推進コンクールにおいて大賞(農林水産大臣賞)を受賞した。

また、耕畜連携による土づくりと土壌分析データを活用した肥料配合工場の活用により、キャベツ栽培農家全戸がエコファーマーを取得し、農薬・化学肥料の50%低減に取り組み、初年目は、約80%の農家で50%以上の低減が実践できた。

今後は、環境保全の町として、取組農家数の増加、栽培面積・収量の増大に向けた技術の向上、安全・安心を売りにした販路の拡大に取り組んでいく。



フェロモントラップに関する研修会の実施



生育監視システムによる予察防除の充実



キャベツ栽培ほ場